



大球磨川

至誠 向学 鍛練
夢を持ち自ら学ぶたくましい生徒の育成
八代市立第三中学校
学校だより第9号
令和3年12月23日

「多様な性を受け入れる心の環境整備を!」(人権集会より抜粋)

校長 稲岡博信

過去に勤務した学校で、髪を短く切った女子生徒に、男子生徒が「男の子みたい」と一言。それに傷つき不登校になりました。男の子は謝罪しましたが、みんなからそう思われていると思うようになったようです。自分のせいで仲間が不登校となったため、男の子も元気がなくなっていきました。何気ない一言が、心ない一言になるのだということを、常々意識しておかなければならないと思いました。この問題は、男の子に「男はこうで、女はこうなれば」と決めつけた考え方があったからではないかと思います。「LGBTQ」と聞いたことがありますか。Lは女性の同性愛者、Gは男性の同性愛者、Bは両性愛者、Tは生まれた時の性とは違いがう性を生きる人、Qは自分の性がはっきりしない人です。その中には、体の性と心の性との食い違いに悩んだり、周囲の偏見や差別に苦しんだりしている人が多くいます。性は多様で、いろいろな性があるという捉え方が必要です。そして、社会では多様な性が認められ、ありのままの自分の性で生きられる暮らしやすい環境づくりが進められています。学校でも、様々な違いを個性ととらえ、認め合うことの必要性を積極的に発信しながら、LGBTQへの理解を促進するための人権意識の啓発に努めていかなければなりません。制服やトイレ、更衣室など、その人たちのが生活しやすい環境を整えていかなければならないのですが、大きな予算と時間がかかりそうです。でも、みなさんの心の環境整備は短期間でできると思います。そのような態度が、日常的な人権意識の向上にもつながっていくと思います。すべての人の人権を尊重するためには、人間の尊厳にかかわる性の尊重が大切であるということを意識して暮らしてください。

Xmasコンサート



12月21日(火)にPTA主催のXmasコンサートがあり、八代出身のハンドフルート奏者、高山大知さんの演奏を聴きました。ハンドフルートとは、両手を組んで作った空洞に息を吹き込んで笛のような音を鳴らして音楽を奏でる奏法です。クラシックやポップスなど、いろいろな曲を演奏していただきました。

きれいな音色に感動の連続でした。



長距離走。駅伝大会



生徒会役員改選選挙



12月7日(火)に立会演説会・生徒会役員改選選挙が行われました。その結果、生徒会長に森本隆太郎くん(2年)生徒会副会長に矢鋒



翔大くん(1年)に決まりました。今後、その他の役員が決まっていきます。三中を今まで以上に引っ張ってくれることを期待します。



門松づくり

12月22日(水)に歴代のPTA会長様とはばたき学級の生徒たちで門松づくりを行いました。

おかげさまで、今年も正門には立派な門松がたちました。すばらしい新年が迎えられそうです。ありがとうございました。

